

報告事項(3)

平成22年度(2010年度)NGO・外務省定期協議会
「第2回連携推進委員会」資料 2010年11月8日(月)

2010年11月08日

連携推進委員会

報告者: 大橋正明(JANIC)

国連ミレニアム開発目標サミット 政府代表団へのNGO参加に関する報告

1. 趣旨

国連ミレニアム開発目標サミット(以下「国連MDGsサミット」)が本年9月20日~22日の3日間、米国ニューヨークの国連本部にて開催され、日本の菅総理大臣・前原外務大臣を含め、世界各国の首脳が参加してMDGs達成に向けた過去10年間の総括と今後5年間の戦略について討議した。これに向けて、この連携推進委員会は、日本の政府代表団にNGO・市民社会の代表5~6名を参加させ事を要請した。その結果、2名が政府代表団に加わったので、その内容などについて報告を行う。

2. 報告事項

(1) 政府代表団へのNGO・市民社会代表の参加

①JOICFP 矢口真琴、②JANIC 大橋正明が、政府代表団に加わった。なおこの2名に加えて、連携推進委員会の関係NGOの3団体から4人が、国連本部周辺に参加したサイドイベント等に参加した。

(2) 国連MDGsサミットに向けた話合い

MDGsサミットに向けて、政府代表団メンバーをはじめとするNGOとの話合いを9月17日に行った。

(3) 政府代表団参加の内容

- 国連総会当日の20日朝早く、外務省担当者より書類交付を受け国連本部に入るパスを入手した
- 上記2名は、3日間に渡って国連本部内で開催された様々なサイドイベントに自発的に参加した。あるいは、総会に次ぐ重要な会議であったラウンドテーブルの様子がモニターに移される「入れなかった人用」の部屋で、その様子を見聞した。
- 3日間の後半に、外務省スタッフ/国連日本政府代表部スタッフの配慮で、2名はそれぞれ別個のラウンドテーブルに参加した
- 国連本部で開催される各種イベントの情報は、当日遅い朝にしか入手できず、日本政府が関わるもの、関心があるもの等のイベントに、効率的に参加することは容易ではなかった。
- 期間中、事前に要請しておいた現地でのブリーフィングや話合いなどは行われなかった。
- 菅総理の演説原稿については、最終版がタイムリーに共有された。

3. 今後のための検討要請

- (1) 政府代表団の一員として、アップデートされた情報の定期的な共有(毎朝のブリーフィング、あるいはメールなどで「翌日/当日の重要/関連イベント及び動きの知らせ」の配信)
- (2) サイドイベント・ラウンドテーブル・総会での議論点等の事前ブリーフィングや話合い
- (3) 他の主な代表団員や日本政府代表部のメンバーと会う機会の設定
- (4) 渡航費・滞在費の公費負担

以上